



ジャパンカップ、3人の逃げが吸収された後、リクイガスとランブレが先頭を固める

シクリスムエコー No.154 2008年11月号



2008 JAPAN CUP CYCLE ROAD RACE 2



2008年MTBアジア選手権大会 6



2008年世界室内自転車競技選手権大会 7

'08-09 UCITラック・ワールドカップ・クラシクス#1 ... 8



第14回日韓対抗学生自転車競技大会 9



競技大会結果 10

日本代表選手団 11・12

加盟団体事務局変更のお知らせ 12

JCF事業予定カレンダーの変更 12

国民体育大会10回出場表彰 12

連盟の動き 12



この広報誌は、「競輪公益資金」の補助を受けました。

<http://keirin.jp>

<http://ringring-keirin.jp>



Japan
Cup
Cycle Road Race

2008 JAPAN CUP CYCLE ROAD RACE

ジャパンカップ・クネゴが2度目の優勝



見事2度目の優勝を果たしたクネゴ

17回目の開催となる'08ジャパンカップサイクルロードレース、今回特に印象に残ったのは会場に溢れんばかりの大観衆ではなかったか。

その理由のひとつには、今回の来日メンバーの充実度が挙げられよう。ジャパンカップの常連であり4度の優勝を誇るランプレは、'04年のジロ・デ・イタリア覇者であり'05年の本大会優勝者でもあるダミアノ・クネゴを送り込んできた。日本でも人気の高いクイクステップは3年ぶり4回目の参加。今年のジロ・デ・イタリアでマリアローザを着用した、ジョヴァンニ・ヴィスコンティがメンバーに名を連ねている。イタリアトップチームのリクイガスは、今回ジャパンカップに初参加。このチームからはツール・ド・フランスで2年連続総合の表彰台に登ったイヴァン・バツォが、ドーピング事件による競技者停止処分のおと、このジャパンカップを復帰戦に選びエントリーしてきた。

レースの前日に宇都宮市オリオンスクエアで開催されたオープニングイベントも大盛況で、その流れもあろうが来

日選手の宿舎のロビーも、例年以上のファンで賑わっていた。レース当日の山岳エリアは過去に見られなかったほどの観客数であったが、これは3年ぶりにこのエリアが無料開放された影響もあったと思われる。収容限度をやや超えて危険ではないかとも思われたが、熱心なファンに会場に集まってもらえるのは、自転車競技界の発展にとって、決してマイナスにはならないであろう。

スタート前にばらついた雨もすぐにやみ、曇り空ながらもそれほど低い気温の中、定刻午前10:00にレースがスタートした。余談ではあるが年々この宇都宮の会場は、レース日の気温が高くなっているような気がする。寒さに慣れているヨーロッパのチームの中には、半袖ポロシャツ姿のスタッフも見られた。

最初の勝負所である古賀志林道で



1周目から果敢に逃げた野寺、柿沼、福島（左から）



鶴カントリー登りを行く先頭4名

まず飛び出したのは、野寺秀徳（スキル・シマノ）、福島晋一（梅丹本舗・GDR）、そして地元栃木出身の柿沼章（ブリヂストンアンカー）の3名。坂を下りきった県道入口の交差点（6km地点）でメイン集団との差は1分20秒、1周目完了でその差は1分43秒まで開いた。1周目のラップタイムは22分28秒。このタイムは5名で逃げた昨年より4秒速いが、11名で逃げた1昨年のタイム21分35秒にははるか及ばないタイムだ。3名の逃げではプロツアーチームを焦らせるには、少々不足気味といったところか。メイン集団はプロツアーチーム勢によりコントロールされ、先頭との差を2分から3分の間に保ちながら周回を重ねる。

3周目が柿沼、6周目が野寺、そして9周目が福島とそれぞれ山岳賞を分け合うと、いよいよ本格的な戦闘が始まった。集団は先行する2名（柿沼は8周目の鶴C.Cの登りで脱落）との差を詰め始め、田野町の交差点（7km地点）でその差は19秒。例年のように山で一気に差を縮めるのではなく、プロツアーチームがコントロールする集団が、先行2名との差を徐々に削り取っていく。8km地点で差は15秒、場内のモニターに背後を振り返る福島の姿が映される。9km地点で差は5秒、まず福島が吸収されて野寺も10km地点までに吸収された。

10周目の古賀志林道の登りでクネゴ、バツソ、ヴァレリオ・アニョーリ（リキィガス）の3名がアタック。追走するのはクイックステップ2名、ランプレ2名、リキィガス1名、そして土井雪広（スキル・シマノ）の7名だ。県道入口でその差は13秒、追走集団から土井とクイックステップのヴィンスコンティが飛び出す。土井は追い切れずヴィンスコンティのみが先頭3名に追いつきトップグループは4名となる。10周完了時に10名となった追走集団と先頭との差は、41秒まで広がった。

最終周回の古賀志林道、先頭集団からクネゴとバツソの2名がアタックを仕掛けた。ヴィンスコンティに7秒、アニョーリに23秒の差をつけて山頂を通過する。レースは先行2名のマッチレースの様相を見せ始めたが、ヴィンスコンティは諦めない。2名が互いに牽制しているという事もあろうが、残り4km地点で10秒あった差を帳消しにして、残り2kmで先行2名に追いつ

最後の鶴カントリー登りを行くバツソとクネゴ（左から）



いた！

3名となったトップグループは最後の直線、ゴールスプリントに備え牽制する。そのトップグループにアニョーリが、残り3km地点での29秒差を挽回して追付いた！！だがアニョーリに、バツソのアシストとしての余力は残されていなかった。ラスト200mでクネゴが抜け出しそのままゴール、3年ぶり2度目の優勝を飾った。2位はヴィンスコンティ、3位にバツソ、健闘したアニョーリは12秒差の4位に終わった。ゴールタイムは4時間4分57秒でまずまずのタイム。日本勢のトップは9位の土井であった。

オープンレース

沖美穂が惜しまれつつ引退

ジャパンカップの前日に行われた男子オープンレース（80.8km）は、5周目に飛び出したチームブリヂストンの伊丹健治が、そのまま逃げ切り優勝を飾った。

女子は本レース限りで競技者引退を表明していた沖美穂（JPCA）が、最終周の鶴C.Cの登りで萩原麻由子（鹿屋体育大）を振り切り、11秒の差をつけて引退レースを勝利で飾った。

現役最後のレースを勝利した沖選手。その引退を惜しむ声も各所で聞かれたが、引退を決めるのは選手本人でありその意思を尊重するべきである



鶴カントリー前を行く男子オープンのメイン集団



男子オープン、単独フィニッシュの伊丹

う。沖美穂という大黒柱を失った女子競技界であるが、現役選手たちのますますの踏ん張りを期待せずにはいられない。だが、いみじくもレース後沖選手が「誰でもいいから今日は、私を引こうという選手に出てきてもらいたかった」と語っていたように、正直物足りなさは否めない。同じく今年のジャパンカップで引退する三船雅彦（マトリックス）が、先頭から9分39秒遅れで両手を挙げながらゴールした姿は、その意味では対照的なシーンであった。

最後に沖選手に本紙に一言頂戴したので、その言葉でこのレポートを締め括りたい。『12年間競技を続けてきて、JCFの方々にも支えられながら良い時代を過ごせまして、ヨーロッパで

も本当に悔いの無い自転車競技生活を送れたと思います。いままでありがとうございました。』（村田 隆宣）



チャレンジレース出場の片山右京

【競技結果】

2008ジャパンカップサイクロードレース
(2008/10/26 栃木・宇都宮)

男子ロードレース (151.3km)

- 1 CUNEGO Damiano ITA LAM 4:04:57
- 2 VISCONTI Giovanni ITA QST 4:04:57
- 3 BASSO Ivan ITA LIQ 4:04:57
- 4 AGNOLI Valerio ITA LIQ 4:05:09
- 5 GAVAZZI Francesco ITA LAM 4:06:20
- 6 VOCKLER Thomas FRA BTL 4:06:20
- 7 CARLSTROM Kjell FIN LIQ 4:06:20
- 8 PRONI Alessandro ITA QST 4:06:20
- 9 土井 雪広 スキル・シノ 4:06:20
- 10 西谷 泰治 愛三工業 4:06:20

チーム順位

- 1 LIQUIGAS 12:16:26
- 2 LAMPRE 12:17:43
- 3 QUICK STEP 12:21:02

アジア最優秀選手

- 1 土井 雪広 JPN スキル・シノ

U23最優秀選手

- 1 福田 真平 JPN チームブリヂストン・アンカー

男子オプナルス (80.8km)

- 1 伊丹 健治 群馬 ブリヂストン 2:09:16
- 2 巖田 義明 埼玉 ブリヂストン 2:09:31
- 3 小野口健太 東京 2:09:36
- 4 山根 理史 島根 2:09:36
- 5 五十嵐丈士 沖縄 ホテルカハ港 2:09:36
- 6 大村 寛 鹿児島 2:09:36
- 7 西谷 雅史 東京 オーベスト 2:09:36
- 8 早川 朋宏 愛知 法政大学 2:09:36
- 9 森山 大知 神奈川 COLNAGO 2:09:36
- 10 平林 昌樹 神奈川 USEN 2:09:40

女子オプナルス (42.3km)

- 1 沖 美穂 JPCA 1:15:55
- 2 萩原麻由子 群馬 鹿屋体育大 1:16:06
- 3 針谷千紗子 栃木 1:17:14
- 4 西 加南子 千葉 センチュリー & co. 1:18:04
- 5 豊岡 英子 大阪 1:18:11
- 6 山島 由香 大阪 CB あさひ 1:18:25
- 7 唐見実世子 JPCA キン 1:21:11



女子オープンの覇者、沖(右)と萩原



今期で引退する沖にスタート前花束が贈られる

2008年MTBアジア選手権大会

DHI男女で1~2位独占



男女1~2位を独占したDHI



男子DHI優勝の井手川



女子DHI優勝の末政

今年で14回目となるMTBアジア選手権が11月6~9日の日程で、ネパール・カトマンズにおいて開催された。

女子XCOには11名が参加した。国別では中国が4名の参加で最も多く、前U23世界チャンピオンを含むそうそうたる顔ぶれであった。日本選手は片山の1名であった。レースはスピードのある中国選手に片山が粘りの走りについて行き、一人をかわして4位に入った。

男子XCOは30名の参加であった。昨年のアジア選手権で上位を独占した中国、香港との熾烈な争いが再度繰り広げられた。レースは05年のアジア選を制したJiangが先行、それを日本の3選手(山本、小野寺、竹之内)と香港(Chang)が追う展開となった。最終周で山本がChangを引きちぎってJiangを追うも55秒届かず、2位であった。3位のChangを追っていた竹之内はあと20秒まで詰めたが、残念ながら4位であった。

DHIでアジアの頂点を行く日本は必勝態勢で臨み、予選・決勝とも男女1・2フィニッシュを果たした。男子の井手川は2連覇、女子の末政は5連覇(欠場した2003を除けば8連覇)を達成した。

今回は次の五輪を見据えて若手を

中心に構成した。その中でも最年少の竹之内(20)は積極的な走りで見せた。片山も今まで1度も勝てなかった中国に一矢報い、将来に向けての可能性を見せた。DHI勢は苦手な漕ぎ中心のコースであっても、君が代を2度も響き渡らせた。参加選手は全員入賞でき、若手中心とした今回の遠征はまずまずの成果だったと言える。(西井匠)

【競技結果】

2008年MTBアジア選手権大会 (2008/11/6-9 Nepal・カトマンズ)

XCO 男子E1-T (35.0km)

| | | | |
|---|----------------|-------------|---------|
| 1 | Jiang Xue Li | CHN | 1:54:51 |
| 2 | 山本 幸平 | 北海道 BS アンカー | 1:55:46 |
| 3 | Chan Chun Hing | HKG | 1:56:52 |
| 4 | 竹之内 悠 | 京都 TREK | 1:57:12 |
| 6 | 小野寺 健 | 北海道 SUBARU | 2:02:39 |

XCO 女子E1-T (26.1km)

| | | | |
|---|---------------|-----------------|---------|
| 1 | Ren Chengyuan | CHN | 1:34:24 |
| 2 | Liu Ying | CHN | 1:37:11 |
| 3 | Shi Qinglan | CHN | 1:38:59 |
| 4 | 片山 梨絵 | 神奈川 Specialized | 1:41:20 |

DHI 男子E1-T (1.2km)

| | | | |
|---|---------------|----------------|---------|
| 1 | 井手川直樹 | 広島 Iron Horse | 2:03.35 |
| 2 | 永田 隼也 | 神奈川 Iron Horse | 2:04.10 |
| 3 | Tsui King Man | HKG | 2:09.04 |

DHI 女子E1-T (1.2km)

| | | | |
|---|------------------|---------------|---------|
| 1 | 末政 実緒 | 兵庫 MS-Intense | 2:24.60 |
| 2 | 飯塚 朋子 | 大阪 UNIVEGA | 2:43.79 |
| 3 | Cheng Shih Hsuan | TPE | 3:03.59 |



男子XCO 2位の山本



女子XCO 4位の片山

2008年世界室内自転車競技選手権大会

サイクルサッカー史上初、グループAで1勝



サイクルサッカー日本対スイス



サイクルフィギュア芦田

2008年世界室内自転車競技選手権大会は10月24日(金)～26日(日)の3日間、オーストリア西部ドルンビルンで開催され、19の国と地域から154名の選手が参加した。

サイクルサッカーでは昨年の入替戦に勝利し、日本を10年ぶりのグループA(g-A)復帰昇格に導いた松田鋼/木下直也チームが出場。日本史上最強チームが、世界最高レベルの6ヶ国にて構成されるg-Aに挑んだ。

g-A 1次リーグ開幕戦にて昨年の覇者ドイツに挑むも、技術に翻弄され0:8と大敗。続くスイス戦では初得点を挙げるも1:6と敗れ、苦戦が続いた。g-A 残留を賭けた大一番となったクロアチア戦、前半の逸機が悔やまれ0:0のまま後半に突入。先制を許すが落ち着いて好機を窺い、フリーキックからの流れるようなパス交換から木下のゴールで同点。更に松田の直接フリーキックで逆転、流れを一気に引き寄せた。リード後も果敢に攻撃を仕掛け、

松田の右クロスに木下が合わせ3:1とし勝負を決めた。この1勝は日本サイクルサッカー史上初の、世界選手権g-Aでの勝利となった。続くオーストリアとチェコには敗れたが、過去最高の世界第5位となりg-A残留を決めた。

日本は2次トーナメントに進み、g-A 1次リーグ2位チェコと再戦。古豪チェコは日本を終始警戒、無理に仕掛けずチャンスに確実に得点し、じわじわと引き離しにかかる。最終スコア0:4で、今回の挑戦は終了した。東洋の挑戦者は世界レベルとの差を確実に縮め、「Japanサイクルサッカー」の存在を満員の観客に示し、試合後の会場には拍手歓声が鳴り響いた。1972年の初参戦以来、重かった扉は36年の歳月をかけ、ようやく開かれた。クロアチアを入替戦で下した実力国ベルギーが来年度のg-A復帰を決め、決勝戦でドイツの4連覇を阻んだチェコが、4年ぶりに世界王者に返り咲いた。

サイクルフィギュアはルール改正に

より演技時間が5分(従来6分)に短縮、技数制限も撤廃。6年連続出場のエース芦田史朗は、多くの技を組み入れたプログラムに挑むも落車が影響し18位。初出場の芝山耕輔は落ち着いた演技を見せ、23位と健闘した。2人には今後の飛躍に期待するとともに、日本全体のレベル牽引を担ってほしい。(植本 昌之)

【競技結果】

2008年世界室内自転車競技選手権大会
(2008/10/24-26 オーストリア・ドルンビルン)

サイクルサッカー

| | | |
|---|-----------------------------------|-----|
| 1 | Jiri Hrdlicka / Radim Hason | CZE |
| 2 | Thomas Abel / Christian Hess | GER |
| 3 | Dietmar Schneider / Simon König | AUT |
| 4 | Roman Schneider / Dominik Planzer | SUI |
| 5 | 木下 直也 / 松田 鋼 | JPN |
| 6 | Mihael Posedi / Marko Kraljic | CRO |

サイクルフィギュア

| | | | |
|----|----------------|-----|--------|
| 1 | Schnabel David | GER | 191.64 |
| 2 | Blab Florian | GER | 190.37 |
| 3 | Hartmann Robin | GER | 188.19 |
| 18 | 芦田 史朗 | JPN | 82.19 |
| 23 | 芝山 耕輔 | JPN | 42.90 |

日本航空
空で逢いましょう。

Dream Skyward.

JAL

ご予約・お問い合わせ

www.jal.co.jp

国内線 ☎ 0120-25-5971
(営業時間 6:30~22:00/年中無休)

国際線 ☎ 0120-25-5931
(営業時間 8:00~21:00/年中無休)

2008-2009 UCIトラック・ワールドカップ・クラシクス# 1

5戦にわたるトラック・ワールドカップが開幕



日本中が沸いた北京五輪。ケイリンで永井清史が日本初の銅メダルを獲得してから2ヶ月半がすぎた10月31日、2008年～2009年トラック・ワールドカップがイギリス・マンチェスターで開幕した。

イギリスといえば2016年ロンドン五輪開催国。北京五輪では自転車競技のメダル獲得数もトップ。その、国を挙げての強化策もマスコミで話題となった。そして今回の大会でもその実力を大いに発揮した。

冬のシーズンに定着してきたワールドカップだが、今シーズンは昨年より1大会多い5大会（マンチェスター、メルボルン、カリ、コロンビア、北京、デンマーク）が開催される。

このワールドカップは世界選手権出

場枠獲得のための、重要なポイント獲得の大会となる。今回の第1戦は「第5回インターナショナル・ケイリンイベント」が最終日に開催され、日本からは5名の選手がイギリスに渡った。

【競技結果】

'08-09UCIトラック・ワールド・カップ・クラシクス# 1 (2008/10/31-11/02 イギリス・マンチェスター)

男子スプリント

- | | | |
|---|------------------|-------------|
| 1 | KENNY Jason | SKY |
| 2 | PERKINS Shane | AUS |
| 3 | CRAMPTON Matthew | GBR |
| 9 | 渡邊 一成 | JPCA JPCU福島 |

男子ケイリン

- | | | |
|---|-----------------|-----|
| 1 | PERVIS François | COF |
| 2 | KENNY Jason | SKY |
| 3 | MULDER Teun | NED |

13 渡邊 一成 JPCA JPCU福島 1回戦敗退

男子チームスプリント

- | | | |
|---|-------------|--------|
| 1 | Team Sky+Hd | 44.306 |
| 2 | Poland | 45.259 |
| 3 | Germany | 45.076 |
| 5 | 日本 成田・新田・渡邊 | 45.461 |

UCIインターナショナルケイリンイベント (2008/11/2 イギリス・マンチェスター)

男子ケイリン

- | | | |
|----|------------------|-------------|
| 1 | CRAMPTON Matthew | GBR |
| 2 | EDGAR Ross | SKY |
| 3 | PTACNIK Adam | CZE |
| 9 | 渡邊 一成 | JPCA JPCU福島 |
| 13 | 稲垣 裕之 | JPCA JPCU京都 |
| 15 | 成田 和也 | JPCA JPCU福島 |
| 15 | 新田 祐大 | JPCA JPCU福島 |
| 17 | 中川誠一郎 | JPCA JPCU熊本 |

第14回日韓対抗学生自転車競技大会

日本チームが辛くも総合優勝



11月2日(日)、第14回日韓対抗学生自転車競技大会が東京都立川競輪場において開催された。本大会は95年より日韓親善・交歓競技大会としてスタートしたが、02年の第8回大会から日韓対抗・公式大会として位置づけられ現在に至っている。東京での開催は第4回東京ドーム開催以来であり実に10年振りとなった。選手団は大学、高校男子、女子の各カテゴリーから各4名、スタッフは団長を入れて4名、計16名の選手団で編成。7種目が行われ順位に応じて獲得した得点の合計により、日韓の対抗成績が決定する。

さて、競技内容であるが大会序盤に行われたインディヴィジュアルパーシュートでは全カテゴリーにおいて韓国勢にリードを許した。後半になりポイントレース・大学スプリント・高校生チームスプリントで頑張り両国の接戦は続いた。総合得点71対69で、日本チームが辛くも総合優勝した。しかし、1位の数は韓国に負けており、韓国チームは毎回1週間程度の合宿を行い仕上げてくることも、“勝ちにこだわる姿勢”は学びたいものである。

終わりに、施設面で立川競輪場の絶大な理解と協力のもと大会は実施できた。夜間照明を使用しての大会、そして選手会東京支部の協力、更に関東新人大会として参加された各校の引率の先生方と、学連関係者との

審判連携もとれて大会は成功裏に幕を閉じた。一番ご苦労であった地元関係者へ感謝を申し上げたい。

(審判長 折本 裕樹)

【競技結果】

第14回日韓対抗学生自転車競技大会 (2008/11/2 東京・立川競輪場)

男子大学スプリント

- 1 石口 慶多 兵庫 立命館大学
- 2 我妻 敏 福島 日本大学
- 3 JO HANG HEE KOR
- 4 LEE YUL HEE KOR

男子高校スプリント

- 1 JUNG HA NEUL KOR
- 2 和田真久留 神奈川 横浜桜陽高校
- 3 箱田 優樹 青森 青森商業高校
- 4 KONG TAE UK KOR

男子1kmタイムトライアル

- 1 我妻 敏 福島 日本大学 1:08.998
- 2 JUNG JEONG GYO KOR 1:09.459
- 3 JEONG SANG MIN KOR 1:10.034
- 4 箱田 優樹 青森 青森商高 1:12.164

男子高校3km個人追抜競走

- 1 CHOE HYEONG MIN KOR 3:40.838
- 2 新山 将史 青森 八戸工高 3:48.508

男子大学4km個人追抜競走

- 1 LEE KI SUK KOR 4:56.798
- 2 穂苅 大地 新潟 法政大学 5:01.957

男子ケリ

- 1 JUNG JEONG GYO KOR
- 2 石口 慶多 兵庫 立命館大学
- 3 JEONG SANG MIN KOR
- 4 野口 正則 奈良 榛生昇陽高校
- 5 柴田 一樹 神奈川 朝日大学
- 6 LEE YUL HEE KOR

男子ポイントレース(30km)

- 1 穂苅 大地 新潟 法政大学 45p
- 2 LEE KI SUK KOR 32p
- 3 我妻 敏 福島 日本大学 27p
- 4 新山 将史 青森 八戸工業高校 24p
- 5 柴田 一樹 神奈川 朝日大学 18p
- 6 野口 正則 奈良 榛生昇陽高校 16p

男子高校チームスプリント

- 1 日本 箱田・和田・新山 1:20.187
- 2 KOR 1:21.400

男子大学4km団体追抜競走

- 1 KOR 4:37.601
- 2 日本 石口・我妻・穂苅・柴田 4:39.198

女子500mタイムトライアル

- 1 LEE HYE JIN KOR 37.245
- 2 前田佳代乃 兵庫 西宮高校 38.369

女子スプリント

- 1 LEE HYE JIN KOR
- 2 前田佳代乃 兵庫 西宮高校
- 3 岡 希美 群馬 法政大学
- 4 PARK HYEON SOON KOR

女子2km個人追抜競走

- 1 JANG HYE MIN KOR 2:44.063
- 2 萩原麻由子 群馬 鹿屋体大 2:46.444

女子ポイントレース(10km)

- 1 萩原麻由子 群馬 鹿屋体育大学 21p
- 2 JANG HYE MIN KOR 11p
- 3 近内 稚明 福島 岩瀬農業高校 10p
- 4 YOON AH YOUNG KOR 5p
- 5 岡 希美 群馬 法政大学 4p

女子チームスプリント

- 1 KOR 59.004
- 2 日本 岡・前田 1:02.413

総合成績

- 1 日本 71点
- 2 KOR 69点

競技大会 結果

大会名、チーム名等については略して記載

MTBシブパソシリーズJ3 木島平XCM (2008/10/18-19 長野・木島平)

リト男子

- 1 大江 良憲 山形 チーム杉 2:27:52.55

'08-09UCI シクロクロスワールドカップ第1戦 (2008/10/19 ベルギー・kalmthout)

女子リト (16.68km)

- 1 VAN DEN BRAND Daphny NED 39:48
2 KUPFERNAGEL Hanka GER +00:05
3 HAVLIKOVA Pavla CZE +00:06
23 荻島 美香 JPN +03:17

MTBシブパソシリーズJ3 白馬24時間XCE (2008/10/25-26 長野・白馬)

男子リト

- 1 鈴木 博信 鹿児島 ちーむのぞぎ 50laps
2 佐藤あきら 愛知 47laps
3 山本 誠一 山形 Team奥州 45laps
4 真弓 力 三重 Mt.HASE32143laps
5 星 慎一 神奈川 ベーグルワン 43laps
6 RICE MICHAEL 東京 ajieru.com 42laps
7 森崎 芳宏 兵庫 カレッジ大百科 42laps
8 松山 晋也 長野 チャーターズ 37laps
9 西山 俊寿 長崎 オンセラッシュ 31laps
10 中江 俊博 東京 TeamOKU 31laps

MTBシブパソシリーズJ2 日本CSC XCO (2008/10/25-26 静岡・日本CSC)

男子リト

- 1 竹谷 賢二 千葉 Specialized 2:11:06.74
2 平野 星矢 新潟 アウトドア校 2:12:52.68
3 松本 駿 長野 TREK 2:17:48.69
4 江下健太郎 長野 トルクス 2:19:26.63
5 柴田健太郎 大分 Specialized 2:19:54.39
6 神谷 知明 東京 GIANT 2:22:12.07
7 佐々木文吾 大阪 ドリリング 2:25:02.86
8 Mark Parker 長野 2:25:28.05
9 多田 尚史 東京 JFE 2:26:37.66
10 代田 和明 千葉 WingPaw 2:27:13.65

女子リト

- 1 深井 薫 大阪 チームコラテック 52:55.6

第4回全国シブパソ自転車競技大会 (2008/10/26 三重・四日市)

A-1高校生男子 (63.0km)

- 1 山本 元喜 奈良 奈良北 1:38:04.976
2 徳田 鍛造 京都 北桑田 1:38:42.724
3 笠原 恭輔 茨城 取手高 1:38:58.696
4 畑段 嵐士 京都 北桑田 1:38:58.991
5 田尾 駿介 高知 高知工 1:38:59.363

- 6 安原 大貴 奈良 榛生昇 1:39:00.156
7 中井 俊亮 奈良 榛生昇 1:39:00.460
8 山本 慎一 奈良 榛生昇 1:39:01.051
9 西沢 倭義 京都 北桑田 1:39:01.466
10 大中 巧基 京都 北桑田 1:39:03.263

A-2高校生女子 (27.0km)

- 1 福本 千佳 大阪 履正社高 49:24.539
2 星川恵利奈 香川 笠田高校 49:25.850
3 岩田 知夏 京都 北桑田高 49:25.890
4 下久保初菜 京都 北桑田高 49:30.731

B-1未就学児 (0.5km) 28名出走

※未就学児の部は順位をつけません

B-2小1・2年男子 (2.7km) 36名出走

- 1 谷 駿 川崎市平小学校 5:56.394
2 山内 深太 今渡北小学校 6:14.594
3 高梨万里王 富士根南小学校 6:18.908

B-3小1・2年女子 (2.7km) 11名出走

- 1 栗原菜々子 7:00.440
2 相川 唯 8:23.181
3 吉田みなみ 長久手南小学校 8:25.294

B-4小3・4年男子 (9.3km) 31名出走

- 1 亀谷 昌慈 南帷子小学校 18:36.600
2 松本 峻典 南つづじヶ丘 18:40.132
3 青木 威澄 粉浜小学校 20:13.400

B-5小3・4年女子 (9.3km) 13名出走

- 1 瀬賀 楓佳 墨江小学校 21:02.911
2 寺田 早希 植田小学校 21:32.761
3 酒井 美有 豊明栄小学校 23:10.424

B-6小5・6年男子 (9.3km) 37名出走

- 1 二村 航平 穂高北小学校 16:12.038
2 孫崎 大樹 狭山西小学校 17:13.171
3 谷口 跳馬 沓掛小学校 17:39.739

B-7小5・6年女子 (9.3km) 11名出走

- 1 鈴木 奈央 元吉原小学校 18:27.773
2 寺田 有希 植田小学校 18:28.079
3 八木 梓 豊地小学校 18:28.154

B-8中学男子 (27.0km) 31名出走

- 1 廣瀬 元輝 上庄中学校 46:49.606
2 日野林雄大 広田中学校 46:49.739
3 小橋 勇利 富川中学校 46:50.150

B-9中学女子 (18.0km) 13名出走

- 1 黒田 彩夏 江井島中学校 33:12.215
2 元砂七夕美 松原中学校 33:12.460
3 宮田 菜摘 西中学校 33:13.522

B-10高校男子 (36.0km) 12名出走

- 1 北澤竜太郎 中野立志館 1:02:37.670
2 峰 宏規 上野工業高 1:02:40.257
3 田尻 健 高槻高校 1:03:01.255

シクロクロスワールドカップシリーズ #1 (2008/10/26 富山・黒部)

リト男子

- 1 丸山 厚 長野 スワレーシングチーム 59:38
2 小坂 正則 長野 スワレーシングチーム 59:39
3 池本 真也 神奈川 和光機器タム 1:03:41
4 松井 正史 京都 シブパソシリーズ 1:04:21

ISPOワールド (U23)

- 1 竹之内 悠 京都 TREK 1:01:58
2 中山 和也 長野 スワレーシング 1:04:35
3 小坂 光 長野 スワレーシング 1:04:58
4 松井 響 京都 立命館大学 1:05:39

- 5 伊澤 優大 滋賀 Bee Club 1:05:50

リト女子

- 1 豊岡 英子 大阪 ayako toyooka 43:09
2 志村みち子 埼玉 エキップあづみの 45:31
3 酒井 真清 大阪 Testach R. 46:58
4 中村由香里 大阪 カカワ.A.S 49:43
5 田近 郁美 岐阜 GOD HILL -1lap

シクロクロスワールドカップシリーズ #2 (2008/11/2 北海道・野幌)

リト男子

- 1 松井 正史 京都 S.ドリリング 1:02:54
2 猪又 靖 北海道 クラブシムラスト 1:03:10
3 山田 夏樹 北海道 Gas Panic 1:03:44
4 藤岡 拓 北海道 FdaMiyasei 1:04:24
5 尾崎 義規 北海道 よしー 1:05:06

2008全日本チーム対抗自転車競技大会 (2008/11/3 静岡・日本CSC 250m)



男子200mフライングタイムトライアル

- 1 安福 洋徳 学連 早稲田大学 11.233
2 屋良 朝春 実業団 チーム・フェアロ 11.288
3 保科 千春 高体連 東北高校 11.517



- 4 武藤 龍生 関東 前橋育英高 11.619
5 川西 貴之 中部 日本大学 11.728
6 山田 純也 中部 朝日大学 11.732

男子250mタイムトライアル

- 1 屋良 朝春 実業団 チーム・フェアロ 19.189
2 岡本 光由 学連 早稲田大学 19.694
3 山田 純也 中部 朝日大学 19.731
4 川本 琢也 中国 政法大学 20.055
5 保科 千春 高体連 東北高校 20.109
6 平葎 信貴 関東 前橋工業高 21.016

男子1kmタイムトライアル

- 1 横関 裕樹 中部 朝日大学 1:09.204
2 窪木 一茂 学連 日本大学 1:10.844

- 3 吉田 茂生 高体連 岐南工高 1:11.531
 4 澤口 大和 学連 早稲田大 1:11.923
 5 木村 洋介 関東 伊勢崎工 1:11.931
 6 岩本 晋也 中国 倉吉西・教 1:12.108

男子チームリット

- 1 学連 岡本・安福・澤口 50.275
 2 実業団 屋良・高橋・河上 51.508
 3 関東 平霞・武藤・木村 51.391
 4 高体連 保科・高宮・秋葉 51.478
 5 中部 山田純・山田佳・高木 51.843
 6 中国 岩本・川本・鷺原 52.148

男子4km団体追抜競走

- 1 学連 兼平・森田・坂本・窪木 4:35.115
 2 中部 井関・川西・高橋・横関 4:43.672
 3 高体連 吉田・岩瀬・丹羽・森 4:48.655

女子200mフライング・タイムトライアル

- 1 松本 世良 鳥取 倉吉東高校 13.374
 2 越田恵美子 石川 松寿園 13.454
 3 濱田 真子 東京 - 13.674
 4 堀 友紀代 神奈川 - 14.586
 5 鈴木 遊 鳥取 倉吉総産高 14.608
 6 森田 里美 鳥取 倉吉総産高 15.039

女子500mタイムトライアル

- 1 松本 世良 鳥取 倉吉東高校 39.344
 2 野村くるみ 石川 内灘高校 40.267
 3 越田恵美子 石川 松寿園 41.052
 4 濱田 真子 東京 - 41.346
 5 杉澤 彩 静岡 星陵高校 42.309
 6 鈴木 遊 鳥取 倉吉総産高 42.680

女子チームリット

- 1 チームB 越田・野村 39.782
 2 チームC 松本・森田 40.378
 3 チームA 濱田・中山 41.642

中学生250mタイムトライアル

- 1 安本 昇平 山口 華陽中学校 20.776
 2 俵 央育 北海道 本通中学校 21.233
 3 清水 裕友 山口 国府中学校 21.330
 4 久保田泰弘 山口 国府中学校 22.656
 5 池田 圭汰 静岡 伊東南中学 23.068
 6 黒瀬 壮馬 静岡 長岡中学校 25.686

中学生500mタイムトライアル

- 1 安本 昇平 山口 華陽中学校 37.634
 2 清水 裕友 山口 国府中学校 37.997
 3 俵 央育 北海道 本通中学校 38.662
 4 田中 誇士 静岡 東中学校 39.074
 5 久保田泰弘 山口 国府中学校 39.838
 6 池田 圭汰 静岡 伊東南中学 41.781

小学生250mタイムトライアル

- 1 鈴木 奈央 静岡 元吉原小学 26.023
 2 山田 龍生 静岡 葦山小学校 26.620
 3 三輪 晶子 静岡 南小学校 28.088
 4 野寺 歩夢 静岡 大見小学校 29.461
 5 野寺 楓 静岡 大見小学校 30.512
 6 山田 正汰 静岡 葦山小学校 30.842

ツール・ド・おきなわ2008

(2008/11/8-9 沖縄・名護他)

個人総合時間賞

- 1 新城 幸也 EQA 梅丹本舗 6:32:31
 2 清水 都貴 EQA 梅丹本舗 6:32:49
 3 松村 光浩 MTR マトリックス 6:33:52
 4 SHAW Stuart AUS/DPC 6:34:10
 5 品川 真寛 AIS 愛三工業 6:34:10
 6 野寺 秀徳 SKS スキル・シマノ 6:34:10
 7 鈴木 真理 SKS スキル・シマノ 6:34:18
 8 中島 康晴 EQA 梅丹本舗 6:34:21
 9 福田 真平 BGT BSアンカー 6:34:22
 10 飯野 嘉則 SKS スキル・シマノ 6:34:22

第1ステージ (51km)

- 1 新城 幸也 EQA 梅丹本舗 1:11:59
 2 SHAW Stuart AUS/DPC 1:11:59
 3 鈴木 真理 SKS スキル・シマノ 1:11:59
 4 PARK Seon Ho KOR/SCT 1:11:59
 5 福田 真平 BGT BSアンカー 1:11:59
 6 清水 都貴 EQA 梅丹本舗 1:11:59
 7 Cuppens Tjarco NED/TCF 1:11:59
 8 中島 康晴 EQA 梅丹本舗 1:11:59
 9 飯野 嘉則 SKS スキル・シマノ 1:11:59
 10 角 令央奈 KNY 鹿屋体育大 1:11:59

第2ステージ (200km)

- 1 新城 幸也 EQA 梅丹本舗 5:20:58

- 2 清水 都貴 EQA 梅丹本舗 5:20:58
 3 松村 光浩 MTR マトリックス 5:21:22
 4 品川 真寛 AIS 愛三工業 5:21:36
 5 野寺 秀徳 SKS スキル・シマノ 5:21:36
 6 福島 晋一 EQA 梅丹本舗 5:22:20
 7 SHAW Stuart AUS/DPC 5:22:23
 8 PARK Sung Beak KOR/SCT 5:22:23
 9 福田 真平 BGT BSアンカー 5:22:23
 10 KIM Yeong Uk KOR/KOR 5:22:23

団体総合時間賞

- 1 梅丹本舗-GDR EQA 19:40:13
 2 スキル・シマノ SKS 19:42:26
 3 ソウルサイクリング SCT 19:53:17

個人総合ポイント賞

- 1 新城 幸也 EQA 梅丹本舗-GDR 59p

個人総合山岳賞

- 1 CLARKE Dave GER/TNH 5p

ジュニア国際レース (130km)

- 1 平井 栄一 神奈川 横浜高校 3:37:09.22
 2 黒枝 士揮 大分 日出陽谷 3:37:10.81
 3 Palmer Thomas David AUS 3:37:11.61
 4 大中 巧基 京都 北桑田高 3:37:19.53
 5 西沢 倭義 京都 北桑田高 3:37:20.57
 6 Kim Seung Hyeon KOR 3:37:20.58
 7 Choi Ki Ho HKG 3:37:20.66
 8 CHOI Hyeong Min KOR 3:37:21.00
 9 Park jung In KOR 3:37:21.29
 10 中尾 佳祐 埼玉 川越工高 3:37:21.43

女子国際ロードレース (85km)

- 1 TSENG Hsiao Chia TPE 2:34:32.84
 2 YOO Seon Ha KOR 2:34:32.87
 3 WONG Wan Yiu HKG 2:34:33.01
 4 針谷千紗子 栃木 ヴァンムール 2:34:33.25
 5 米田 和美 北海道 C.カカ 2:34:33.26
 6 山島 由香 大阪 CBあさひ 2:34:33.49
 7 牧瀬 翼 佐賀 2:34:48.82
 8 早坂ありさ 鹿児島 鹿屋体大 2:37:27.87
 9 Li Yu Hsuan TPE 2:38:48.52
 10 木村 亜美 香川 石田高校 2:38:49.94

2008MTBアジア選手権大会 日本代表選手団

大会名 2008年MTBアジア選手権大会
 開催場所 ネパール連邦民主主義共和国・カトマンズ
 大会期間 2008年11月8日～9日 (8日:XC、9日:DH)
 派遣期間 2008年11月4日～11日
 代表選手団
 監督 西井 匠 (JCF強化スタッフ)
 メカニック 白井 三善 (JCF強化スタッフ)
 仁木 康夫 (JCF強化スタッフ)
 選手 クロスカントリー
 山本 幸平 (北海道・プリヂストーン・アンカー)
 小野寺 健 (北海道・SUBARU GARYFISHER)
 竹之内 悠 (京都・TREK)
 片山 梨絵 (神奈川・SPECIALIZED)
 ダウンヒル
 永田 隼也 (神奈川・IRON HORSE/SSR)
 井手川直樹 (広島・IRON HORSE/SSR)
 末政 実緒 (兵庫・MS-INTENSE/FFC)
 飯塚 朋子 (大阪・UNIVEGA)

ツール・ド・インドネシア2008
日本代表選手団

大会名 スピーディ・ツール・ド・インドネシア2008
 開催場所 インドネシア共和国 ジャカルタ～バリ
 大会期間 2008年11月23日～12月5日
 派遣期間 2008年11月21日～12月7日
 代表選手団
 監督 三浦 恭資 (JCF強化コーチ)
 メカニック 齋藤 健吾 (JCF強化スタッフ)
 マッサー 宮島 正典 (JCF強化スタッフ)
 選手 伊藤 雅和 (鹿児島・鹿屋体育大学)
 内間 康平 (沖縄・鹿屋体育大学)
 越海 誠一 (大分・日本大学)
 野中 竜馬 (広島・鹿屋体育大学)
 吉田 隼人 (奈良・鹿屋体育大学)

ツアー・オブ・サウスチャイナシー 日本代表選手団

大会名 ツアー・オブ・サウスチャイナシー (UCI2-2)
 開催場所 ホンコン・チャイナ～中華人民共和国～マカオ・チャイナ
 大会期間 2008年12月14日～21日
 派遣期間 2008年12月12日～22日
 代表選手団
 監督 藤野 智一 (JCF強化スタッフ)
 メカニック 森 昭雄 (JCF強化スタッフ)
 マッサージ 赤星 太郎 (愛三工業レーシング)
 選手 西谷 泰治 (愛知・愛三工業レーシング)・綾部 勇成 (JPCA・愛三工業レーシング)
 盛 一大 (愛知・愛三工業レーシング)・福田 真平 (神奈川・チームプリヂストン・アンカー)
 伊丹 健治 (群馬・チームプリヂストン・アンカー)・巖田 義明 (埼玉・チームプリヂストン・アンカー)

加盟団体事務局変更のお知らせ

● 岡山県自転車競技連盟

〒704-8191 岡山県岡山市西大寺中野16-21 山崎 範行 様方 TEL & FAX: 086-942-0432

● JCF 事業予定カレンダーの変更

2008年アジア BMX 選手権大会 (BMX)

開催期日: 2008年12月12日～14日 → 2008年12月20日～21日

場 所: インドネシア・スラバヤ

平成20年度全国高等学校選抜自転車競技大会 (TR・RR)

開催期日: 2009年3月下旬 → 2009年3月22日～24日

場 所: 福岡・北九州

● 国民体育大会 10回出場表彰

小野寺 保 (北海道)

日置 大介 (兵庫)

原 隆成 (島根)

松浦 正史 (愛媛)

矢野 賢児 (高知)

明珍多久雄 (大分)

黒木 裕介 (宮崎)

連盟の動き (10月下旬～11月中旬)

| | | |
|--------|--------------------------------|--------------------------|
| 10月23日 | 平成20年度第6回広報部会 | 於: 東京・日本自転車会館3号館3階 |
| 27日 | '08-09トラックワールドカップ第1戦代表選手団出発 | 於: イギリス・マンチェスター 帰国11/4 |
| 29日 | 2008年ツール・ド・コリア-ジャパン日本ステージ実行委員会 | 於: 熊本県・山鹿市 |
| 11月4日 | 2008年MTBアジア選手権大会日本代表選手団出発 | 於: ネパール・カトマンズ 帰国11/11 |
| 7日 | ACC理事会 | 於: ネパール・カトマンズ |
| 8日 | 平成20年度第1回ジュニア強化育成部会 | 於: 東京・日本自転車会館3号館3階 |
| 15日 | '08-09年トラックワールドカップ第2戦代表選手団出発 | 於: オーストラリア・メルボルン 帰国11/23 |

< JCF オフィシャル・スポンサー >



< JCF オフィシャル・サプライヤー >



シクリスムエコー No.154 2008年11月号

発行/財団法人日本自転車競技連盟

発行人/岩楯 昭一

編集人/加藤 昭

編集事務局/財団法人日本自転車競技連盟事務局

〒107-0052 東京都港区赤坂 1-9-3 日本自転車会館内

TEL03-3582-3713 FAX03-5561-0508 <http://www.jcf.or.jp/>